

# にけーしよん



## 5/24・25 劇団風の子

24日に城辺小学校で、25日には東海小学校で、町内の児童・園児とその保護者を対象に「ほっと計画委員会(河野 満代表)」主催の「劇団風の子 おさな星のうたたね」が公演されました。

恐ろしい氷魔王の魔力を溶かすことができるのは、主人公「うたたね」が歌う、母さんの胸で聞いた子守唄……。人間の持つ優しさや愛情を描いた公演を観て、土居洋斗君(東海小6年)が、「家族の大切さがわかり、心の良い勉強になりました。」とお礼の言葉を述べました。

## 6/2 自転車の安全な利用を学ぶ

城辺小学校体育館で、自転車の交通事故防止を図り、交通ルールを遵守した自転車の安全な乗り方を学んでもらおうと「平成24年度交通安全こども・高齢者自転車南宇和地区大会」が開催され、15名の選手が参加しました。大会では、学科(交通法規)と実技(技能、安全走行)の試験が行われ、選手は真剣な表情で自転車の交通ルールを再確認していました。なお、次のチームが、6月23日(土)に松前町で行われた県大会に出場しました。

【県大会出場チーム】

### 高齢者の部

愛南選抜(二宮節夫、浅野和義、倉田政夫)

### こども団体の部

城辺小学校(荒地皇太、河野柚紀、黒田朱里、猪野愛梨)

平城小学校A(山本音羽、徳永響、長山悠菜、西川未菜)



## 本日! 海日和!! 番外編 「海底からエール」

愛南町初のトライアスロン大会に、海中からの監視・記録のボランティアとして参加させていただきました。

心配していた台風の影響もなく、陸上はまずまずのコンディション。しかし、水中は3m先も見えない状況。監視や記録ができるか心配でした。いよいよスタート。海底にまで伝わってくる水しぶきの音で、先頭集団が迫ってくるのが分かります。海面を見上げると、選手たちが魚の群れのように次々と通り過ぎます。一心不乱に記録に挑戦している人、美しいフォームで優雅に泳ぐ人、溺れているの?とってしまう人、水中の私に手を振ってくれる人……。

それぞれのスタイルで取り組んでいる姿を見て、私の心配もなくなり、海底からレースを見守ることができました。大会を支えた多くの皆さん、本当にお疲れ様でした。

(スイムのゴール付近 水深2m 2012.6.9)環境省自然公園指導員 西尾知照



# 愛南こみゆ

## 5/19・20 未来の医師にアピール

愛媛大学医学部重信キャンパスで開催された「第36回 愛媛大学医学祭」に、愛南町が出店し、特産のヒオウギ貝や岩ガキの炭火焼で未来の医師たちに愛南町をアピールしました。



参加した清水町長ほか町職員は岩ガキなどを焼きながら愛南町の魅力を伝えるとともに、8月に御荘文化センターで同大医学部医学科の学生などを対象に開催される「愛南町の医療を考える会」への参加を呼びかけました。

岩ガキをおいしそうに食べていた学生は「医療を考える会にはぜひ参加したい」「地域医療にも興味がある」「愛南町にも行ってみたい」などに関心がある様子で話しました。

愛南町の慢性的な医師不足解消のためのPR活動として、同医学祭への出店を今後も継続する予定です。

## 5/19 B&G御荘海洋クラブ活動開始



御荘B&G海洋センターで、御荘湾での海洋性スポーツ開始に備え、プールでOPヨットの体験会と、水の事故ゼロをめざして安全教室を行いました。

B&G御荘海洋クラブでは、随時会員を募集しています。お気軽に御荘B&G海洋センター(TEL72-1117)まで問合せください。

## 5/20 ゴルフを通じて地域貢献を

四国西南地域のゴルフ愛好者が集い「第16回一本松チャリティーゴルフ大会(福岡義人実行委員長、64名が参加)」が開催され、障害者福祉団体「ありんこくらぶ(宮崎和友会長)」に活動資金として20万円、子どもたちにたくさん本を読んでもらいたいと町教育委員会に10万円の図書カードが、また、東日本大震災の被災地へも社会福祉協議会を通じて10万円がそれぞれ寄贈されました。福岡実行委員長は、「大好きなゴルフを通じて何か社会のお役に立てたらとの思いから始めた大会だが、体が動く限り続けたい」と語っていました。なお、大会の様子は、あいなんタウンチャンネルで放送されています。



左から岡村教育長、福岡実行委員長、宮崎会長